

戸田市 事務事業評価 《事後評価シート》

事務事業名	21133 環境衛生事務費													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	01	04	02	01	記入日	令和 8年 2月19日
	R6	15	04	00		R6	01	04	01	04	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち							再掲施策				● 対象
施策	28	環境衛生の充実											○ 対象外
事業期間	平成16年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市あき地の環境保全に関する条例 戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例 戸田市人と動物との共生社会の推進に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 61 人と動物の共生を推進する条例の制定と動物愛護施策の推進						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市民及び土地所有者												
事業目的	市民の環境美化意識を高め、きれいで安全で快適な生活環境を確保する。また、空き地を清潔に保持し、市内の景観維持や防犯を促進すること。また、スズメバチの巣の駆除等を実施し、市民の安全を守ること。												
事業内容	「ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例」を啓発し、市民の環境美化意識の高揚を図る。また、雑草等が繁茂している空き地について、その所有者へ草刈りの通告を行う。また、スズメバチの巣の駆除等を実施する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ポイ捨て禁止条例等の啓発により市民の環境美化意識					
	事業費	30,945	39,297	41,316	41,316	41,316	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	9,163	8,929	9,325	9,325	9,325
	一般財源	21,782	30,368	31,991	31,991	31,991	
	人件費	8,321.28	11,209.8	11,209.8	11,209.8	11,209.8	
	投入人員	常勤職員	1.28人	1.57人	1.57人	1.57人	1.57人
		非常勤職員	0.16人	0.78人	0.78人	0.78人	0.78人
事業費+人件費		39,266	50,507	52,526	52,526	52,526	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	ポイ捨て及び喫煙ルールの啓発件数	喫煙制限区域における1日(6時間)あたりの件数	件	4	4	3	3	3
	事務事業活動②	市内空き地繁茂状況パトロールの回数	市内空き地繁茂状況パトロールの回数	回	0	4	2	2	2
	事務事業成果①	ポイ捨て条例に基づく過料請求件数	条例に基づき過料を請求した件数	件	0	0	0	0	0
	事務事業成果②	放置雑草地の改善件数	市の通知により改善された件数	件	3	3	3	3	3
					4	1	3	2	—
目標達成状況の分析		A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 喫煙ルールの啓発件数については、積極的な啓発により目標を達成した。 放置雑草地の改善件数については、通報のあった対象土地の所有者に改善通知を発送する等により2件が解決した。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 空き地の清潔保持のため、土地所有者へ改善指導を実施している。ポイ捨て等禁止条例について、巡回啓発員、広報等の周知により、環境美化意識の向上に寄与した。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 空き地の管理は所有者の費用で実施されている。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術の助成は、県の補助金を活用して実施している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> ポイ捨て等禁止条例は、市広報へ記事を掲載する等により、効果的に実施されている。猫の不妊・去勢手術は、市民団体の活動の一環として実施されている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 市内全域の環境美化に寄与している。また、スズメバチの巣の駆除は市内全域を対象としており、公平性が保たれている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、令和6年度も県の補助を受け実施した。 北戸田駅前の喫煙所については、駅前工事に伴い、仮設喫煙所として移転を行い駅周辺の環境が保たれた。
令和7年度に実施する取組内容	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、引き続き実施する。また、北戸田駅前の喫煙所については、整備工事完了後の本設置に向け、設置場所の選定とともに喫煙所の今後の方向性を検討する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 市民からの通報による空き地の雑草の繁茂や害虫の発生などに迅速に対応し、土地所有者に改善通知を実施できるよう継続して取り組む。また、喫煙に関するルール・マナーの浸透は図られてきているが、苦情はなくなっていないことから、ポイ捨て条例の周知や喫煙制限区域等の巡回啓発により、喫煙マナーの更なる向上を目指す。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成については、例年一定の申請があり年度末には予算がなくなることから、予算額や手法について検討を行う。 北戸田駅前の喫煙所については、駅前整備工事に伴い令和6年度に仮設喫煙所として移転したが、今後の喫煙所の在り方を含め、設置場所について検討していく。

事務事業名	6999 狂犬病予防事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	01	04	03	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	04	00		R6	01	04	01	04	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち					再掲施策				○ 対象		
施策	28	環境衛生の充実									● 対象外		
事業期間	昭和41年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	狂犬病予防法					関連計画 施政方針							
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	犬を飼養する家庭												
事業目的	市内における狂犬病の発生を予防し、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。												
事業内容	生後91日以上の子犬の登録者に対し鑑札の交付。狂犬病予防集合注射の実施と注射済票の交付。広報等を用いて狂犬病予防注射の実施を促進した。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	狂犬病予防集合注射の実施、注射済票の交付等	
	事業費	1,064	1,639	1,639	1,639	1,639	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	1,064	1,639	1,639	1,639	1,639
		一般財源	0	0	0	0	0
	人件費	2,665.41	3,213	3,213	3,213	3,213	
	投入 人員	常勤職員	0.41人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		3,729	4,852	4,852	4,852	4,852	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	狂犬病予防集合注射の実施数	市内で集合注射を実施した回数	回	4	4	4	4	4
	事務事業成果①	狂犬病発生件数	市内での狂犬病発生件数	件	0	0	0	0	0
					0	0	0	0	—
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p><判断理由> 狂犬病予防集合注射については、予定どおり実施することができた。 市内での狂犬病発生はなく、事業目標は達成できている。</p>								

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：施策の目標達成に大いに貢献している。</p> <p><判断理由> 狂犬病予防集合注射を実施し、狂犬病の発生を抑制している。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：経費の精査が十分になされている。</p> <p><判断理由> 狂犬病予防に関する連絡費や印刷費が主な経費であり、最小の経費で実施している。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。</p> <p><判断理由> 関係団体の獣医師の協力により狂犬病予防集合注射を実施する等、効率的に事業を実施している。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。</p> <p><判断理由> 狂犬病予防集合注射は市内で偏りのないよう実施している。また、休日に実施することで集合注射を受けやすい環境を整え、公平性が保たれている。</p>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	畜犬管理システムについては、マイクロチップに対応する改修を行った。
令和7年度に実施する取組内容	畜犬管理システムはマイクロチップに対応していることから、特例制度（マイクロチップの装着を鑑札とみなす制度）への参加の可否について検討する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 狂犬病予防集合注射の実施と畜犬管理システムの活用により、今後も予防注射接種率の維持・向上を図る。畜犬管理システムはマイクロチップに対応していることから、特例制度への参加をする場合の手数料や事務の取り扱について、他自治体の動向を踏まえ検討していく。</p>

事務事業名	21134 清掃総務事務費													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	02	01	01	01	記入日	令和 8年 2月19日
	R6	15	04	00		R6	01	04	02	01	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち						再掲施策				● 対象		
施策	28	環境衛生の充実										○ 対象外		
事業期間	平成16年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 56 循環型社会に向けたプラごみや食品ロスの削減と3Rの推進							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民													
事業目的	駅周辺の環境を清潔に保つ。下水道未整備地域の環境を清潔に保つ。													
事業内容	市内3駅の駅周辺や公衆トイレについて、毎日の清掃を行う。下水道未整備地域のU字溝について、汚泥の清掃を行う。													
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	ごみ減量化対策、駅周辺の公衆衛生確保	
	事業費	68,582	81,381	494,132	494,132	494,132	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	184	175	44,449	44,449	44,449
		一般財源	68,398	81,206	449,683	449,683	449,683
	人件費	13,002	13,423.2	13,423.2	13,423.2	13,423.2	
	投入 人員	常勤職員	2人	1.88人	1.88人	1.88人	1.88人
		非常勤職員	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人	0.38人
事業費+人件費		81,584	94,804	507,555	507,555	507,555	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	駅前及び駅トイレ清掃の実施日数	年間のトイレ清掃の実施日数	日	363	363	363	362	362
	事務事業成果①	清掃に関する苦情件数	駅前及び駅前トイレ清掃に関する苦情件数	件	363	363	363	362	—
					0	0	0	0	0
					0	0	0	0	—
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p><判断理由> 駅前及び駅トイレについて、委託により清掃業務を予定どおり実施し、清掃に関する苦情はなかった。</p>								

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：施策の目標達成に大いに貢献している。</p> <p><判断理由> 駅周辺やU字溝等の清掃により、良好な地域環境を保持することができている。</p>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：経費の精査が十分になされている。</p> <p><判断理由> 駅周辺やU字溝の清掃については、委託内容および必要実施数を現状に即して精査し、経費の最適化を図っている。</p>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。</p> <p><判断理由> 委託業務において、障がい者の就労支援を図る等、手法を工夫している。</p>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	<p>A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。</p> <p><判断理由> 駅周辺及び駅前公衆トイレは全ての市民が利用することができ、公平性が保たれている。</p>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	粗大ごみの受付については、LINE申請による件数が増加しており市民に浸透してきている。また、プラごみ削減や食品ロスの削減など時代に合った廃棄物の適正処理に向け、一般廃棄物処理基本計画を策定した。
令和7年度に実施する取組内容	充電式電池などモバイルバッテリーの適正処理に向け、小型家電回収ボックスを活用と膨張や発火の危険性のあるものは、担当課窓口における回収を検討する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> 業務内容及び性質が同様なことから、「廃棄物収集処理事業」を統合する。 また、北戸田駅公衆トイレについては、施設の老朽化が進んでいることから、北戸田駅前整備工事における駅前広場の活用方法なども踏まえ、JRとの協議のうえ改修等について検討する。清掃については、駅周辺等の良好な地域環境の維持のため、継続して実施する。</p>

事務事業名	21138 廃棄物収集処理事業													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	02	02	03	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	04	00		R6	01	04	02	02	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち					再掲施策				● 対象		
施策	28	環境衛生の充実									○ 対象外		
事業期間	平成16年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					関連計画 施政方針	戸田市環境基本計画 戸田市ごみ処理基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：2-3、8-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市内在住者												
事業目的	家庭ごみの収集運搬を実施すること。 不法投棄の回収・監視等を実施することにより、市内の環境美化を図る。												
事業内容	家庭ごみの分別収集や粗大ごみの予約受付・収集を実施している。また、市内における不法投棄物について、回収・監視を実施している。												
実施主体	□市による単独直営 ■委託（□3セク・財団 ■企業 □市民・NPO） □協働・協力（ ）												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額（千円）	令和7年度 予算額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）	令和10年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	廃棄物を効率的に収集し、不法投棄を監視する。					
	事業費	364,438	375,265	356,438	356,438	356,438	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	36,981	48,157	48,157	48,157	48,157
		一般財源	327,457	327,108	308,281	308,281	308,281
	人件費	3,770.58	856.8	856.8	856.8	856.8	
	投入 人員	常勤職員	0.58人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
事業費+人件費		368,209	376,122	357,295	357,295	357,295	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	まちづくり出前講座実施回数	年間の実施回数	回	3	3	3	3
	事務事業活動②	不法投棄の調査回数	通報やパトロールによる調査件数	回	1,298	1,298	1,298	1,298
	事務事業成果①	ごみ収集量	家庭から排出された可燃ごみの総量	トン	1,239	1,305	1,511	1,195
	事務事業成果②	不法投棄の回収個数	通報やパトロールによる回収個数	個	20,607	20,607	20,607	20,607
	強化KPI①	ごみ収集回数（もやすごみ及びもやさないごみ）	一週あたりの収集回数	回	20,697	20,257	19,505	18,927
					3,900	3,900	3,900	3,900
					4,651	5,548	5,287	3,797
					18	18	18	18
目標達成状況の分析	<p>B：いずれかの目標を達成した。</p> <p><判断理由> 家庭ごみ（可燃ごみ）の排出量は減少傾向にあり、目標を達成した。また、ルールや回収日を遵守しないごみ出しを対象とする不法投棄の回収個数についても減少し目標を達成した。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 家庭ごみの回収を継続して実施することにより、市民の生活環境を清潔に保持することに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 人口増に伴い、ごみの集積所も増加しているが、経費は最小限に抑えられている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 家庭ごみの収集に関し、適切なサービスが提供できている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 家庭ごみについては有料化するのではなく、分別収集によるごみの減量を促進することにより、公衆衛生の向上を図っている。また、市の全世帯が回収の対象であり、公平性が保たれている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和6年度に実施した取組内容・効果	LINEを活用した申請と電子決済を可能とするシステムを導入し、いつでも申請ができる環境を整え利便性の向上を図った。
令和7年度に実施する取組内容	現在の電子決済の一部が取り扱い終了となるため、新たな電子決済の運用を開始する。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 本事業は、事業内容及び性質が同様である「清掃総務事業費」へ統合する。 人口の増加や宅地開発により集積所が増加している。収集運搬を確実に実施し清潔な生活環境を保持するため、継続して実施する。

事務事業名	21137 し尿収集事業													
担当組織	環境経済部 環境課										担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	02	02	02	01	記入日	令和 7年 6月11日
	R6	15	04	00		R6	01	04	02	02	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				○ 対象
施策	28	環境衛生の充実												● 対象外
事業期間	平成16年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 戸田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例						関連計画 施政方針		戸田市環境基本計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：													
対象	市民及び汲み取り世帯													
事業目的	汲み取り式トイレのし尿等を収集運搬し、保健衛生環境を向上させること。													
事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬や手数料の徴収。また、花見会場における仮設トイレの設置。													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	汲み取り式トイレのし尿の収集運搬等を実施する。	
	事業費	3,974	7,991	7,053	7,053	7,053	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	605	605	605	605	605
		一般財源	3,369	7,386	6,448	6,448	6,448
	人件費	715.11	285.6	285.6	285.6	285.6	
	投入 人員	常勤職員	0.11人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		4,689	8,277	7,339	7,339	7,339	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	し尿汲取りの実施回数	1世帯あたりの年間汲み取り回数	回	24	24	24	24
	事務事業成果①	汲取り世帯からの苦情	汲取り世帯からの苦情の合計件数	件	0	0	0	0
					24	24	24	24
					0	0	0	0
					0	0	0	0
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> し尿汲み取りや運搬を完全実施し、し尿汲み取り世帯の保健衛生環境の向上に寄与した(一般105人、業務21人、合計126人)。 なお、し尿くみ取り手数料の調定額は535,030円で、収入済額は527,350円、収納率は98.6%である。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 対象世帯のし尿汲み取りを完全実施しており、保健衛生環境の向上に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> し尿の汲み取りについては、利用者ごとの単価契約とする等最小の経費で業務を実施している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 定期的にし尿汲み取りを実施し、市民からの要望にも迅速に対応している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 対象は市内全域であり、市内の保健衛生環境の向上に寄与している。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	口座振替処理の金融機関への依頼について、従来の帳票ベース方式を取りやめる金融機関が多いことから、伝送化方式(金融機関とデータでやりとりする方式)への切り替えを行った。
令和7年度に実施する取組内容	口座振替処理の金融機関への依頼について、引き続き伝送化方式による実施を行う。

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> し尿汲み取りは、対象世帯がある限り実施する必要がある。汲み取り手数料の徴収については、現在納付書払いとなっている対象者について、口座振替への切り替えを推進する。

事務事業名	7006 蕨戸田衛生センター分担金													
担当組織	環境経済部					環境課					担当	クリーン推進担当		
組織コード	R7	15	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R7	01	04	02	03	01	01	記入日	令和 8年 2月19日
	R6	15	04	00		R6	01	04	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち							再掲施策				● 対象
施策	28	環境衛生の充実											○ 対象外
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：2-3、8-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民、事業者、蕨戸田衛生センター												
事業目的	蕨戸田衛生センターにおける円滑で効率的なごみ処理事業の運営を支援すること。												
事業内容	ごみの焼却等処理、し尿処理及びセンター運営に伴う分担金を支出する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (一部事務組合)												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和6年度 執行額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	令和9年度 計画額(千円)	令和10年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	し尿処理及び ごみ焼却等の 実施	
	事業費	900,656	1,020,445	1,296,129	1,296,129	1,296,129	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	900,656	1,020,445	1,296,129	1,296,129	1,296,129
	人件費	1,170.18	2,142	2,142	2,142	2,142	
	投入 人員	常勤職員	0.18人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		901,826	1,022,587	1,298,271	1,298,271	1,298,271	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	蕨戸田衛生センター議会開催回数	回	4	4	4	4	4
	事務事業成果①	分担金支出割合	%	100	100	100	100	100
	強化KPI①	分担金の請求に対する支出実績	%	100	100	100	100	100
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 蕨戸田衛生センターの分担金について、支出割合に応じ100%支出することができた。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	4年度	5年度	6年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 分担金を適切に支払うことにより、蕨戸田衛生センターの事業が円滑に実施され、安定的にごみやし尿の処理が実施されている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由> 本市、蕨市、蕨戸田衛生センターの三者による協議会等が組織され、経費は十分に精査されている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 蕨市と共に一部事務組合である蕨戸田衛生センターを設置し、ごみやし尿の処理の集約化を諮っており、持続可能な適正処理が確保されている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。 <判断理由> 市内全域から排出されるごみやし尿が円滑に処理されており、公平性は確保されている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和6年度に実施した取組内容・効果	なし
令和7年度に実施する取組内容	なし

6. 令和8年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和8年度で終了 <input type="radio"/> 令和7年度で終了 <input type="radio"/> 令和6年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 今後も市内の家庭ごみやし尿を安定的に処理するため、三者による協議会等により十分に事業内容を精査し、継続して分担金を支払う。令和元年度から4年間に亘り、蕨戸田衛生センターの施設延命化工事が実施されたものの、施設全体としては老朽化していることから、将来的な建て替えを見据えながら、計画的な施設整備の検討を進める。